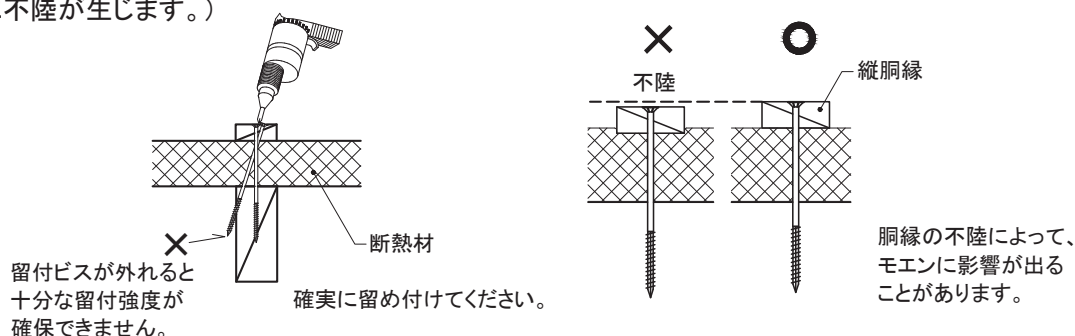


4 外張り断熱工法

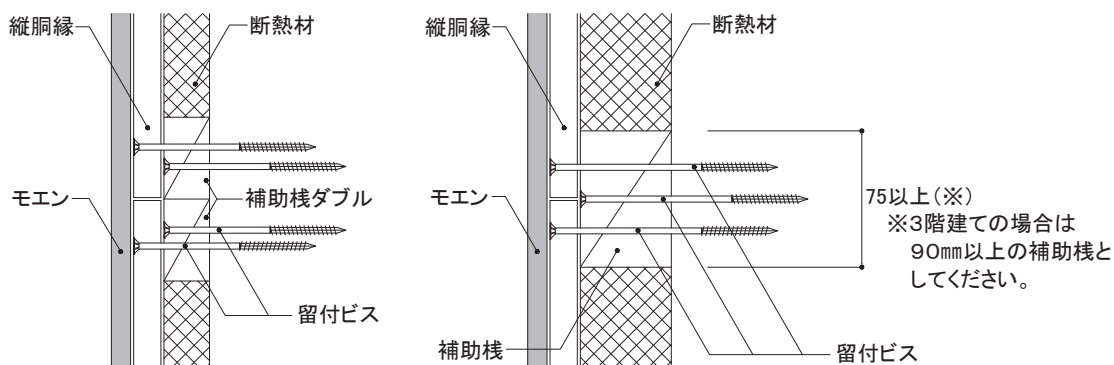
4-6 縦胴縁仕様 各部の規定

4) その他の注意点

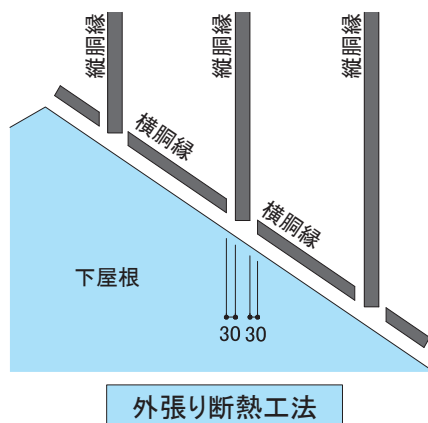
- ① 防水紙は、断熱材の上に防水テープなどで施工します。
(気密シート・気密テープなどは断熱材各社の仕様によります。)
- ② 開口部まわりは防水テープによる止水処理を必ず行ってください。
- ③ 胴縁を留め付ける際は、柱・間柱の位置を確認し、留付ビスの外れには十分注意してください。
胴縁の端あき距離は10mm以上確保し、胴縁が割れた場合は、打ち直してください。
また、断熱材部の胴縁においては、留付ビスの締め付けすぎによる胴縁の沈み込みに注意してください。
(胴縁面に不陸が生じます。)



- ④ 上下で胴縁を継ぐ(連続させる)場合は、原則として補助桟部分で継ぎます。
またその場合は、規定寸法の補助桟をダブルで取り付けるか、幅75mm以上(3階建ての場合は90mm以上)の補助桟とし、上下の胴縁の留付ビスが有効に留め付けられるようにします。



- ⑤ 下屋根取り合いについては、縦胴縁を補助桟に耐力上効かせるように、下図のように納めます。



※外張り断熱工法の施工基準に掲載されていない事項については、モエン標準施工法に準拠してください。